

大分教区少年連盟通信

あそぼ

第9号
2008年3月15日
大分教区少年連盟発行

指導者研修会に参加して

大海組長光寺 大在 紀

二〇〇七年六月三十日(土)、
本願寺別府別院本堂にて、保
育士さんや坊守さんなど三十



五名が参加して、二年に一度
の少年連盟指導者研修会が開
催されました。

今回は、ゲームの指導法に
ついて、九州遊びの研究所所
長の中島宏先生に懇切丁寧に
ご教示いただきました。最初
の講義では、初対面の人と人
との硬さを取る、人間関係を
深める、一体感を高めるなど、
ゲームの目的と、目的に感じ
ていただきました。間違ったら
座らせて残っていることを競
わせるように見えるゲームが
あるが、実は間違っことが楽
しい、この仲間なら間違っ



も大丈夫、と思わせていくこ
とが大事なのだと教えていた
できました。指導をする場合
には、リーダー自らがわざと
間違えることによつて、間違っ
ても大丈夫な雰囲気を作るこ
とも、一つのテクニクなの
だと、あらためて確認できま
した。

その後は四班に分かれて、
ゲームのプログラム作りをし
ながら昼食を頂きました。昼
食後には、全員が参加者となっ
て、班ごとにゲーム指導の実
演をしました。それぞれが
工夫を凝らして、これまでに
なかったような新しいゲーム

少年教化推進者研修会に参加して

大海組誓岸寺 岸 秀史

平成十九年の六月六日から
八日に行われた、少年教化推
進者研修会に参加させていた
できました。

この研修会には、全国各地
より少年教化に携わる方々が
参加し、指導者としての理論
や実践を学ばせていただきました。

一日目の開会式後、外松太
恵子先生より「子どもをの今
を学ぶなぜお寺で子ども会
が必要なのか」と題して講演
をいただきました。現代の子
どもを取り巻く様々な問題を
切り開いていき、特に「いじ
め」について言葉や態度によ
る心理的ないじめなど、見え
にくくなっているのが現状だ
と分析していました。そのた
めには、先生と生徒・親と子

が次々に登場し、非常に和や
かな楽しい時間を過ごすこと
ができました。

女性の参加者がほとんどで
したので、もう少し男性が多

のコミュニケーションづくり
を図ることの重要性を指摘さ
れました。そして、「困難な
環境だからこそお寺が大切」
と、お寺の大切な役割を説か
れました。

一日目の夜から二日目にか
けて九州遊びの研究所所長の
中島宏先生より、ゲームやク
ラフト、模擬子ども会を実践
指導していただきました。

各班に分かれ、各班対抗の
ゲームを行い、勝ち負けだけ
でなく同じチームの仲間が協
力してできるようにする喜び
を共有し、結束力を高めてい
く目的がある内容でした。

また、最終日には子ども会
を進めるうえで悩みを話し
合う座談会もあり、大変充実
した三日間の研修会でした。

いともっと盛り上がったかも
しれないと感じました。二年
後の研修会にはぜひ多くの男
性の参加をお待ちしておりま
す。

土曜学校へ行こう！⑥

速見組
浄専寺



(編) 今回は杵築市山香町にあります速見組の浄専寺(河野眞徳住職)をご紹介します。まず、いつ子ども会をされていますか。

(浄) 月一回、原則として第二土曜日に開催しています。

(編) どのような日程ですか。

(浄) 朝九時三十分から「らいはいのうた」をお勤めして、住職が法話をしたり、坊守が読み聞かせをしたりします。その後はゲームを

したり、天気の良い日は外遊びもします。

(編) 何時に終わりますか。

(浄) だいたい十一時三十分ぐらいに終わります。

(編) おやつなどは出しますか。

(浄) 十一時三十分頃、終わる頃におやつを出すことが多いです。報恩講の時にはぜんざいを出したり、寒い時期にうどんを出したりして、食べ終わるまでお迎えを待っていただいたりすることもあります。

(編) なんだか楽しそうですね。通常の例会以外にも、例えば花まつりなどの行事はするのですか。

(浄) いえ、それはしていませんが、ご法話の時に、降誕会やお彼岸などその季節に応じたお話をするようにしています。

(編) なるほど。ところで、夏に巡回子ども会に来たと



きに伺ったのですが、少子化で児童数がかなり減っているそうですね。

(浄) はい。近くの小学校は全校児童で三十五名ほどしかいないようです。

(編) そのうち何人ぐらいが子ども会に参加しますか。

(浄) 日頃は七、八人ですが、教区に人形劇をお願いしている夏休みの時には、ご門徒ではない子も含めて、二十名近く参加してくれます。

(編) 全校児童の半数以上が参加するんですね。何か特別なことをしているのですか。

少年教化寺族女性研修会に参加させて頂いて、初めは寺族として活動や経験の浅い私がおそらく研修会に出席させてもらってもよいのだろうかかと不安や戸惑いがありました。しかし研修会が進むにつれ、参加者の方や先生方と出会い、他の少年教化活動内容を知らずに行い共に笑ったりゲームなど行い共に笑ったり苦戦したりと、楽しみながら学べることが出来ました。また、青少年問題カウンセ

少年教化寺族女性研修会に参加して、リングの外松太恵子先生のお話では、子どもに対しての接し方や目配りや気遣いなど、日常生活でも気をつけなければならぬと思う事もあり、とても勉強になりました。

昨年より教区の少年教化活動に若干ですが参加させて頂いています。その活動に加わる者として真剣に取り組んでいる事も出来た研修会で、貴重な体験が出来ました。

少年教化寺族女性研修会に参加して

岡組源勝寺 藤村 裕子

(浄) 夏休みは神楽の練習日を学校が案内するので、日が重ならないようにして、お寺の子ども会の方も学校で案内してもらっています。

(編) 学校から案内してもらったというのは、校長先生の裁量によると思いますが、他のお寺の子ども会でもできると良いですね。参考にありました。取材へのご協力、ありがとうございました。

少年連盟のローガンにもありますが、「子どもの声が聞こえるお寺」になっていくよう、一人一人の取り組みが重要になります。

編集後記

あそぼ第九号をお届けします。キッズサンガの取り組みもいくつかの教区では正式に始まったと聞きますが、大分教区ではこれからスタートです。